

8 . 環境ホルモン調査結果

(1) 調査の概要

調 査 地 点	調査時期	分 析 方 法
河 川	梅田川 御厩橋	夏 季
	間 川 六盃橋	
海 域	渥美湾 A - 3 (神野ふ頭)	夏 季

環境庁水質保全局水質管理課編「外因性内分泌攪乱物質調査暫定マニュアル(水質、底質、水生生物)(平成10年10月)」、「要調査項目等調査マニュアル(水質、底質、水生生物)(平成11年12月)」

(2) 調査日

平成16年7月29日

(3) 調査結果

3地点で9物質について水質調査を行った結果、ビスフェノールAなど3物質が検出された。

表2 - 生 - 57 環境ホルモン調査結果

(単位: $\mu\text{g}/$)

調査項目	調査地点	梅 田 川 御厩橋	間 川 六盃橋	渥美湾A - 3 (神野ふ頭)	全国調査結果 (H15年度)
4-n-オクチルフェノール		< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
4-t-オクチルフェノール		0.01	< 0.01	0.01	< 0.01 ~ 0.47
ノニルフェノール		< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1 ~ 2.9
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル		0.6	0.7	0.5	< 0.3 ~ 9.1
フタル酸ジ-n-ブチル		< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.3 ~ 0.5
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
ビスフェノールA		0.04	< 0.01	0.02	< 0.01 ~ < 0.40
ノニルフェノールエトキシレート		< 0.2	< 0.2	< 0.2	-
トリブチルスズ		-	-	< 0.001	< 0.002 ~ 0.005

(注) 全国調査結果のうち4-n-オクチルフェノールは平成13年度結果である。